

経営学科

人材養成および教育研究上の目的

経営学科は、企業及び各種組織のマネジメントリーダー又は職業会計人として、その取り巻く環境の状況を的確に分析し、解決すべき課題と解決手段を提示し、総合的価値判断により問題解決を行う能力を持ち、社会に貢献できる人間性豊かな人材を養成することを目的とする。

三つのポリシー

❖ アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

経営学科は人材養成・教育研究上の目的を達成するために、

1. 経営学科の教育方針や内容を理解し、かつ、経営学・会計学を学ぶ意欲を持つ人
2. 目標をしっかりと持ち、実現するための努力を惜しまない人
3. 企業経営や組織運営に関心・興味がある人
4. 簿記・会計に関心がある、またはその知識や技能をさらに伸ばしたい人
5. 社会科学全般に広い関心を持っている人
6. 企業経営や産業の歴史を学びたい人

の入学を求めています。

❖ カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

経営学科のカリキュラムは、経営学および会計学における基礎的な知識や思考方法の習得を通じて、総合的な判断力を培うことを目指して編成します。1年次に、経営学の分野では、「経営学総論」、「経営管理概論」、「中小企業概論」、「経営史概論」、会計学の分野では、「簿記原理」、「会計学総論」などの入門科目を配置します。2年次以降には、それぞれの学生が、関心に応じて学修できるように、専門領域の選択科目を設けます。

経営学科では、学生が高度な専門知識を修得し、表現力や対話力を高めることができるように、1年次においては、「経営基礎ゼミナール」、2年次には「2年専門ゼミナール」、3年次には「3年専門ゼミナール」、4年次には「論文ゼミナール」を配置します。なかでも、「2年専門ゼミナール」、「3年専門ゼミナール」、「論文ゼミナール」は、同一指導教員による少人数のゼミナールを2年半連続履修するもので、特定の専門分野について、より深い研究指導を行います。





❖ ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

経営学科では、経営学や会計学の知識に基づいて実践ができることを特に重視し、次の能力・知識の習得をもって、厳格な成績評価により学士の学位を授与します。

1. 組織のマネジメントについて適切な意思決定ができる力
2. 企業の存続と成長・拡大に大きくかかわるマネジメントについての企画・立案あるいは高度の意思決定ができる力
3. 経営学および会計学的な思考能力に基づいて、企業における意思決定に対して適切な管理会計情報を提供できる力
4. 会計学の基礎理論や会計ルールに精通した専門家となりうる力

